

畜産学部 教育職員免許状

1. 教育職員免許状について

教育職員免許状は、教育職員免許法および同施行規則に基づき所定の授業科目の単位を修得した者に授与される。

本学で認定されている免許教科は、下表のとおりで、免許状を取得しようとする学生は、免許教科の種類に応じて在学中に「教科及び教職に関する科目」および「文部科学省令で定める科目」等について必要な単位を修得し、都道府県教育委員会（免許状授与者）への申請によって取得することができる。

教育職員免許状取得見込みの確実な学生については、北海道教育委員会への申請を大学が一括して行っている（5. 参照）。

2. 認定されている教育職員免許状の種類および教科

課 程	免許状の種類	免許教科
畜産科学課程	高等学校教諭 1 種免許状	農業 又は 理科

3. 教育職員免許状取得に必要な基礎資格および大学における最低修得単位数

①基礎資格：学士の学位を有すること

②大学における最低修得単位数（高等学校教諭一種免許状 理科・農業）

	教科及び教職に関する科目					教育職員免許法施行規則で定める科目			
	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	日本国憲法	体育	外国語コミュニケーション	情報機器の操作
教育職員免許法および文部科学省令で定められている単位数	※10	※8	5	24	12	2	2	2	2
本学で修得する単位数	※7	※5	5	各教科の指導法として4単位 教科に関する専門的事項として38単位		2	2	4	2

※ 「理科」および「農業」の免許取得の場合、教育職員免許法では「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」で修得すべき単位数 23 単位のうち、10 単位までは当該免許状にかかる「教科及び教科の指導法に関する科目」から修得することができる。本学での修得方法は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」が 17 単位で 6 単位不足するため、その分を「教科及び教科の指導法に関する科目」で補うこととなる。

4. 関係授業科目とその履修方法

(1)「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」の履修方法(必修17単位)

この科目は次表のとおりで、履修方法は、表中の授業科目から17単位を修得しなければならない。

免許状の種類等			単位数	高校 1 種		開講期	備考
				農業	理科		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		本学の授業科目名					
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	◎	◎	3 期	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職入門	2	—	—		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	学校教育論	2	◎	◎	4 期	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	◎	◎	3 期	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	1	◎	◎	5 期集中	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	1	—	—		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	総合的な探究の時間の指導法	1	—	—		
	特別活動の指導法	特別活動	1	◎	◎	5 期集中	
	教育の方法及び技術（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。）	教育方法・ICT活用	2	◎	◎	6 期	
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・教育相談	2	◎	◎	4 期	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法						
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導	2	—	—		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習	3	◎	◎	7 ～ 8 期集中	③参照
	学校体験活動						
	教職実践演習	教職実践演習(高)	2	◎	◎	8 期	④参照
計				17	17		⑤参照

(注)

- ① ㊦印は必修科目である。
- ② ー印は、当分の間開講しない科目である。
- ③ 「教育実習」履修上の条件は「教育原理」、「教育心理学」、「学校教育論」、「生徒指導・教育相談」、「教育方法・ICT 活用」を履修済であり、**教職に就く意志を強く持っていること。**
- ④ 「教職実践演習（高）」は「教育実習」を履修していることが履修要件となる。
- ⑤ 「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」の合計取得単位数は、法令上定められている最低修得単位数（23 単位）から 6 単位不足するため、その分を「教科及び教科の指導法に関する科目」で補う必要がある。
- ⑥ 「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」のうち、「教育原理」と「教育心理学」以外は卒業要件単位に含まれないので注意すること。

（２）「教育実習」の履修について

実習期間	2 週間
実 習 校	原則として出身高校（または中学校） ※出身校での実習が困難な場合は、3 年次の早いうちに教職担当教員または教務課に相談すること

申し込み及び実施までのおおよその流れ

① 2 年次 後期（春休み）	各自で実習校へ内諾依頼（または手続き時期等の確認）を行う。 学校や都道府県教育委員会の定めにより、申込時期や手続き方法が異なる場合がありますので、2 年次終了時の春休み（3 月）には必ず直接実習校に自分で確認してください。
② 3 年次 10 月までに	内諾が取れた実習校・実習期間等を教務課に提出してください（所定の申込書があります）。大学から実習校へ依頼文書を発送します。
③ 4 年次 4 月下旬	大学の教育実習オリエンテーションを行いますので必ず参加してください。これは、「教育実習」の事前指導にあたる内容として、3 単位の授業時間のうちに含むものであり、参加しなければ「教育実習」の単位は認定されません。なお、このときに「教育実習履修要項」及び「教育実習日誌」を配付します。

※教育実習についても、他の科目と同様に履修登録が必要です。4 年次前期に必ず履修登録を行ってください。

(3) 「教科及び教科の指導法に関する科目」の履修方法

(理科：必修 24 単位、農業：必修および選択必修 24 単位)

免許教科と「教科及び教科の指導法に関する科目」については、法令上下表のとおり定められている。

本学で修得すべき科目としては、「教科及び教科の指導法に関する科目」の必修科目または選択必修科目として理科、農業ともに計 24 単位となるように定めている。

	教科及び教科の指導法に関する科目	法令上の最低修得単位数
農 業	農業の関係科目 職業指導 各教科の指導法（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。）	それぞれの科目について 1 単位以上計 24 単位を修得する。
理 科	物理学 化学 生物学 地学 「物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験」 各教科の指導法（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。）	それぞれの科目について 1 単位以上計 24 単位を修得する。

(4) 「大学が独自に設定する科目」の履修方法

(理科：選択 18 単位以上 農業：選択 18 単位以上)

「大学が独自に設定する科目」については、「教科及び教科の指導法に関する科目」の選択科目の中から修得する。「教科及び教科の指導法に関する科目」の選択必修科目のうち、必要単位数を超過した分については「大学が独自に設定する科目」の単位数に含める。

教科及び教科の指導法に関する科目

ユニットにより取得できる免許の教科が特定される場合がありますので、分属決定の際は、希望する教科の免許が、希望するユニットで取得できるかどうか注意すること。

農業（必修 20 単位、選択必修 4 単位、選択 18 単位以上）

	区分	授業科目名	単位	科目群名	授業科目名	単位	科目群名
各教科の指導法	必修 4 単位	◎農業科教育法	4				
農業の 関係科目	必修 14 単位	◎全学農畜産実習	2	共通	◎農畜産科学概論Ⅴ (環境生命科学)	1	共通
		◎農畜産科学概論Ⅰ (畜産学)	1	共通	◎農畜産科学概論Ⅵ (農業経済学)	1	共通
		◎農畜産科学概論Ⅱ (食品科学)	1	共通	◎食の安全学概論	2	共通
		◎農畜産科学概論Ⅲ (農学)	1	共通	◎農畜産関係法	2	共通
		◎農畜産科学概論Ⅳ (農業環境工学)	1	共通	◎国際農畜産開発論	2	共通
	選択 22 単位以上 (※のついた科目から 4 単位以上含む。)	※家畜家禽論	2	共通	農作業システム学	2	共通
		※農業と経済	2	共通	畜産機械施設学	2	共通
		※農業とテクノロジー	2	共通	農業水文学	2	共通
		※土壌栽培学基礎	2	共通	土木施工材料学	2	共通
		※生命と福祉	2	共通	食用作物学	2	共通
		※家畜栄養学Ⅰ	2	共通	植物生産科学	2	共通
		※家畜管理学Ⅰ	2	共通	家畜生産科学実習Ⅱ	2	家畜
		※農業経営学	2	共通	家畜生産科学実習Ⅲ	2	家畜
		※測量学	2	共通	家畜生産科学実習Ⅳ	2	家畜
		※生物生産機械・環境工学	2	共通	家畜育種学演習	1	家畜
		※飼料作物学	2	共通	草地飼料学	2	家畜
		馬学総論Ⅰ	2	共通	家畜生産衛生学	2	家畜
		馬学総論Ⅱ	2	共通	家畜管理学Ⅱ	2	家畜
		家畜生体機能学Ⅰ	2	共通	家畜栄養学Ⅱ	2	家畜
		家畜生体機能学Ⅱ	2	共通	家畜育種学Ⅱ	2	家畜
		家畜繁殖学Ⅰ(繁殖生理)	2	共通	家畜繁殖学Ⅱ(生殖工学)	2	家畜
		家畜育種学Ⅰ	2	共通	農業経済学実習Ⅰ	1	経済
		農業資源経済学	2	共通	農業経済学実習Ⅱ	2	経済
		国際開発経済学	2	共通	農業経済学実習Ⅲ	1	経済
		食料・農業政策学	2	共通	農企業会計学	2	経済
		農業支援組織学	2	共通	畜産衛生経済学	2	経済
		地域環境計画学	2	共通	測量学実習	2	工学
		農地農村整備学	2	共通	生物生産機械・環境工学実習Ⅱ	2	工学
		循環型環境システム学	2	共通	植物生産科学実習Ⅰ	2	植物
指 導 業	必修 2 単位	◎職業指導	2				

備考 1. ◎印は、免許状取得に必要な必修科目である。

2. ※印の授業科目からは、4 単位以上を修得する。

3. 選択 18 単位以上のなかには、「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」の不足分 6 単位を含む。

4. 上記の表は畜産科学課程に共通して適用されるものである。

理科（必修 24 単位、選択 18 単位以上）

区 分		授業科目名	単位	科目群名	授業科目名	単位	科目群名
各教科の指導法	必修 4 単位	◎理科教育法	4				
物理学	必修 4 単位	◎基礎物理学	2	共通	◎応用物理学	2	共通
	選択科目	食品工学	2	共通	構造力学	2	共通
		水理学	2	共通			
化学	必修 4 単位	◎有機化学	2	共通	◎無機化学	2	共通
	選択科目	生物化学	2	共通	環境衛生学	2	食品
		分析化学	2	共通	天然物応用化学	2	食品
		食品化学	2	共通	栄養機能化学	2	食品
		酵素化学	2	食品	乳科学	2	食品
生物学	必修 4 単位	◎生態学	2	共通	◎遺伝学	2	共通
	選択科目	細胞生物学	2	共通	植物育種学	2	共通
		微生物学	2	共通	植物生理学	2	共通
		環境微生物学	2	共通	植物ゲノム・分子育種学	2	共通
		環境昆虫学	2	共通	応用昆虫学	2	共通
		植物生態学	2	共通	基礎免疫学	1	共通
		動物生態学	2	共通	臨床応用免疫学	1	共通
		害虫管理学	2	共通	細菌学	1	共通
		野生動物科学	2	共通	生物統計学	2	共通
		分子生物学	2	共通	応用微生物学	2	食品
		医学概論	2	共通	食品衛生学	2	食品
		食品栄養学	2	共通	植物生産科学実習Ⅱ	2	植物
地学	必修 4 単位	◎地球科学概論	2	基盤	◎農業気象学	2	共通
	選択科目	土質工学	2	共通	植物生産土壌学	2	共通
		気象環境学	2	共通	土壌環境科学	2	共通
各実験	必修 4 単位	◎物理学実験	1	基盤	◎生物学実験	1	基盤
		◎化学実験	1	基盤	◎地学実験	1	基盤
	選択科目	家畜生産科学実習Ⅴ	1	家畜	食品科学基礎実習Ⅲ	2	食品
		環境生態学実習Ⅰ	2	生態	食品科学応用実習Ⅰ	2	食品
		環境生態学実習Ⅱ	1	生態	食品科学応用実習Ⅱ	2	食品
		食品科学基礎実習Ⅰ	2	食品	食品科学応用実習Ⅲ	2	食品
		食品科学基礎実習Ⅱ	2	食品	土質工学実験	2	工学

備考 1. ◎印は、免許状取得に必要な必修科目である。

2. 選択 18 単位以上のなかには、「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」の不足分 6 単位を含む。

3. 上記の表は畜産科学課程に共通して適用されるものである。

(5) 文部科学省令で定める科目の履修方法

下表のとおり履修すること。

教育職員免許法施行規則で定める科目名	授業科目名	単位数	開講期	備考
日本国憲法	法学（日本国憲法）	2	2期	必修
体 育	体育実技Ⅰ	1	1期	必修
	体育実技Ⅱ	1	2期	必修
外国語コミュニケーション	EnglishⅠ	2	1期	4単位以上 修得する
	EnglishⅡ	2	2期	
情報機器の操作	データサイエンス入門	2	1期	2単位以上 修得する
	データサイエンス演習（データとAI）	1	2期	
	データサイエンス演習（計算科学）	1	2期	
	データサイエンス演習（統計学A）	1	3期	
	データサイエンス演習（統計学B）	1	3期	

5. 教育職員免許状の一括申請手続きについて

教育職員免許状の一括申請とは、3月の卒業日における免許状の授与を円滑に行うために、授与権者である都道府県教育委員会への免許状取得見込みの者に係る申請手続きを大学等がとりまとめて行うものです。

例年、11月頃に一括申請申込書を配付し、提出のあった者について12月頃に教育職員免許状授与願を渡し、提出してもらうことになっていますが、詳細は掲示によりお知らせします。

なお、免許状の申請には発行手数料がかかります。

また、一括申請を行わなかった者が教員職員免許状を取得するには、後日教育委員会へ個人申請することになりますが、一括申請で卒業日に受け取るよりもかなり遅くなるので注意してください。